

町長日記



2月といえば

2月といえば、バレンタイン・節分・豆まき・恵方巻・雪・梅・うぐいす、皆さんは何を思い浮かべますか。やはりバレンタインですね。日本では、バレンタインデーに女性から男性にチョコレットを贈る習慣がありますよね。私はあまりチョコをもらえなかったのですが、たくさんもらっている子を見ていると羨ましかったです。バレンタインにチョコレットを贈る習慣はいつから始まったのかなと思い、少し調べてみました。

チョコレットを贈る文化が定着した理由は諸説ありますが、チョコレット会社の広告が始まりとされています。バレンタイン商戦キャンペーンを展開したことから、「女性が好きな男性にチョコレットを贈って告白する日」として、バレンタインデーが浸透していったとのことです。

海外ではどうなのでしょう。フランスでは男性から女性にプレゼントを贈る習慣があるようです。チョコレットではなく、赤いバラが定番のようです。アメリカでも、男性から女性にチョコレットだけでなくバラの花束やアクセサリ、ぬいぐるみなどを贈るみたいです。

日本では、チョコレットは甘く、愛を象徴する食べ物、相手に幸せや喜びを感じさせる特別な贈り物とみなされるみたいです。また、「あなたと同じ気持ち」という意味もあるみたいです。2月14日のバレンタインデーはそもそも、恋人や夫婦が愛を確かめ合う日として世界中に広まっている風習です。好きな人と、またご夫婦でプレゼントの交換や食事に行ったりして今の幸せな時間を過ごしてみませんか。感謝の気持ちをこめて。

由良町長 山名 実